

地域計画

策定年月日	令和7年3月17日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大洗町 (309)
地域名 (地域内農業集落名)	広浦・神山・成田郷地区 (神山・川口集落、干拓・報国集落、第一中部集落、矢場集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	191 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	191 ha
② 田の面積	186.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	— ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	— ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

広浦及び神山地区は潤沼に接した平坦な水田地帯であり平成2年度に神山地区、平成19年度に広浦地区として基盤整備された地域である。成田郷地区は台地に挟まれた谷地の谷津田地帯で、昭和53年度に基盤整備され、夏海湖を水源とし機場等の施設を有しない地域である。いずれも農業従事者の高齢化や後継者不足により担い手農業者への農地集積が進む水田地帯であり、持続的に農地を維持していくために、新たな農地の受け手の確保や後継者の育成が望まれる。
 【本地域の基礎的データ】 農地:約191ha(広浦:116ha、神山:61ha、成田郷:14ha)、地権者:約180人
 主な作物:水稻、飼料用米

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

担い手農業者を中心に農地の集積・集約化に取り組む。また、広域的な視点から農地を耕作する農業者を確保する等、地域と担い手が一体となって農地利用に取り組む。
 また、県央農林事務所経営・普及部門及びJA水戸と連携し、特別栽培米(減農薬・減化学肥料)を生産し地産地消に取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構の事業(貸借・売買)を活用し、今後中心となる担い手農業者への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	50.7	%	将来の目標とする集積率
			55.7 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
今後の中心となる担い手農業者への集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構の事業を活用し、今後中心となる担い手農業者に更なる集約化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構の事業を活用し、担い手農業者の経営意向を考慮しつつ、更なる集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
担い手農業者のニーズを踏まえ、国及び県の補助事業を活用し既存施設の有効利用を図りながら、老朽化している用排水施設の更新検討を行い改修に取り組む。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
県央農林事務所経営・普及部門・町・農業委員会・町や土地改良区と連携し、相談対応等に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業施設の維持管理を担う事業者(組織)はあるが、農作業を受託できる事業者(組織)がないため、農業委員会及び土地改良区と連携し、事業者の設立を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①ハクビシンやイノシシなどの被害が拡大しないよう、目撃情報や被害情報があった場合には罠の設置等、速やかに対応できる体制を構築する。
- ②農薬や肥料等の資材価格高騰への対策として、資材の使用量低減に関する技術・情報の収集及び周知を行う。
- ③作業効率向上や省力化を図っていくために、スマート農業への取組を検討する。
- ⑦土地改良区と連携し、多面的機能支払交付金事業の活用により、適切な農地及び農業施設の維持管理を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稻	2.3 ha	ha	水稻	2.5 ha	ha	A	
2	認農		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	B	
3	認農		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	C	
4	認農		水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	D	
5	認農		水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	E	
6	認農		水稻	4.6 ha	ha	水稻	5.1 ha	ha	F	
7	認農		水稻	3.6 ha	ha	水稻	4.0 ha	ha	G	
8	認農		水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	H	
9	認農		水稻	13.5 ha	ha	水稻	14.9 ha	ha	I	
10	認農		水稻	7.4 ha	ha	水稻	8.2 ha	ha	J	
11	認農		水稻	10.7 ha	ha	水稻	11.8 ha	ha	K	
12	認農		水稻	0.1 ha	ha	水稻	1.0 ha	ha	L	
13	到達		水稻	5.8 ha	ha	水稻	6.3 ha	ha	M	
14	認農		水稻	1.8 ha	ha	水稻	2.0 ha	ha	N	
15	認農		水稻	3.7 ha	ha	水稻	4.1 ha	ha	O	
16	認農		水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	P	
17	到達		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	Q	
18	認農		水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.6 ha	ha	R	
19	認農		水稻	4.3 ha	ha	水稻	4.8 ha	ha	S	
20	到達		水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	T	
21	認農		水稻	3.6 ha	ha	水稻	4.0 ha	ha	U	
22	認農		水稻	2.6 ha	ha	水稻	2.9 ha	ha	W	
23	認農		水稻	2.3 ha	ha	水稻	2.5 ha	ha	Y	
24	認農		水稻	5.5 ha	ha	水稻	6.0 ha	ha	Z	
25	認農		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	A'	
26	認農		水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	B'	
27	認農		水稻	0.9 ha	ha	水稻	1.0 ha	ha	C'	
28	認農		水稻	2.1 ha	ha	水稻	2.3 ha	ha	D'	
29	認農		水稻	1.0 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	E'	
30	認農		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	F'	
31	認農		水稻	8.0 ha	ha	水稻	8.8 ha	ha	G'	
32	認農		水稻	2.0 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	H'	
33	認農		水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	I'	